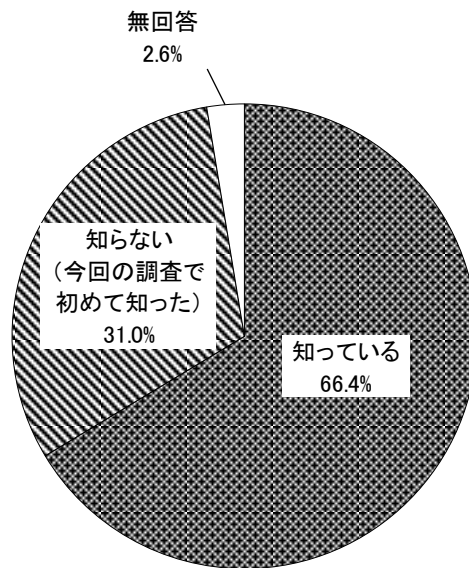


## 5 SDGsについて

### (1) SDGsの認知度

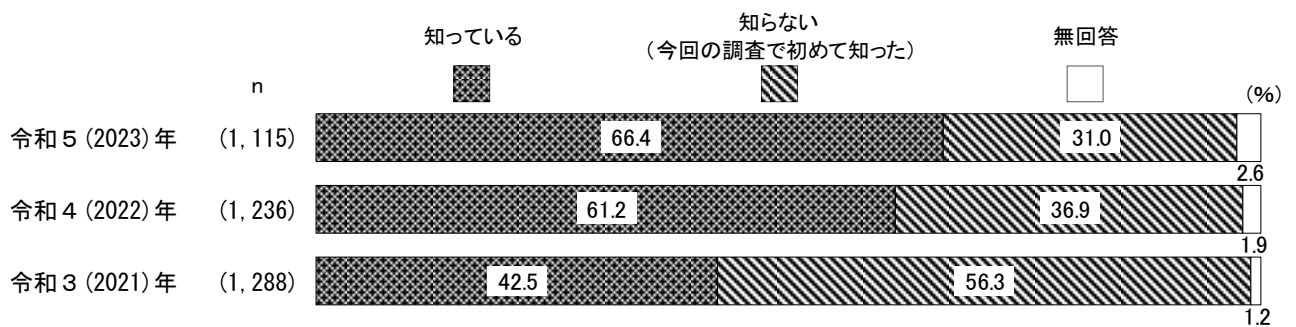
問16 あなたは、SDGs(エスディージーズ)という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

1 知っている	66.4%
2 知らない(今回の調査で初めて知った)	31.0
(無回答)	2.6



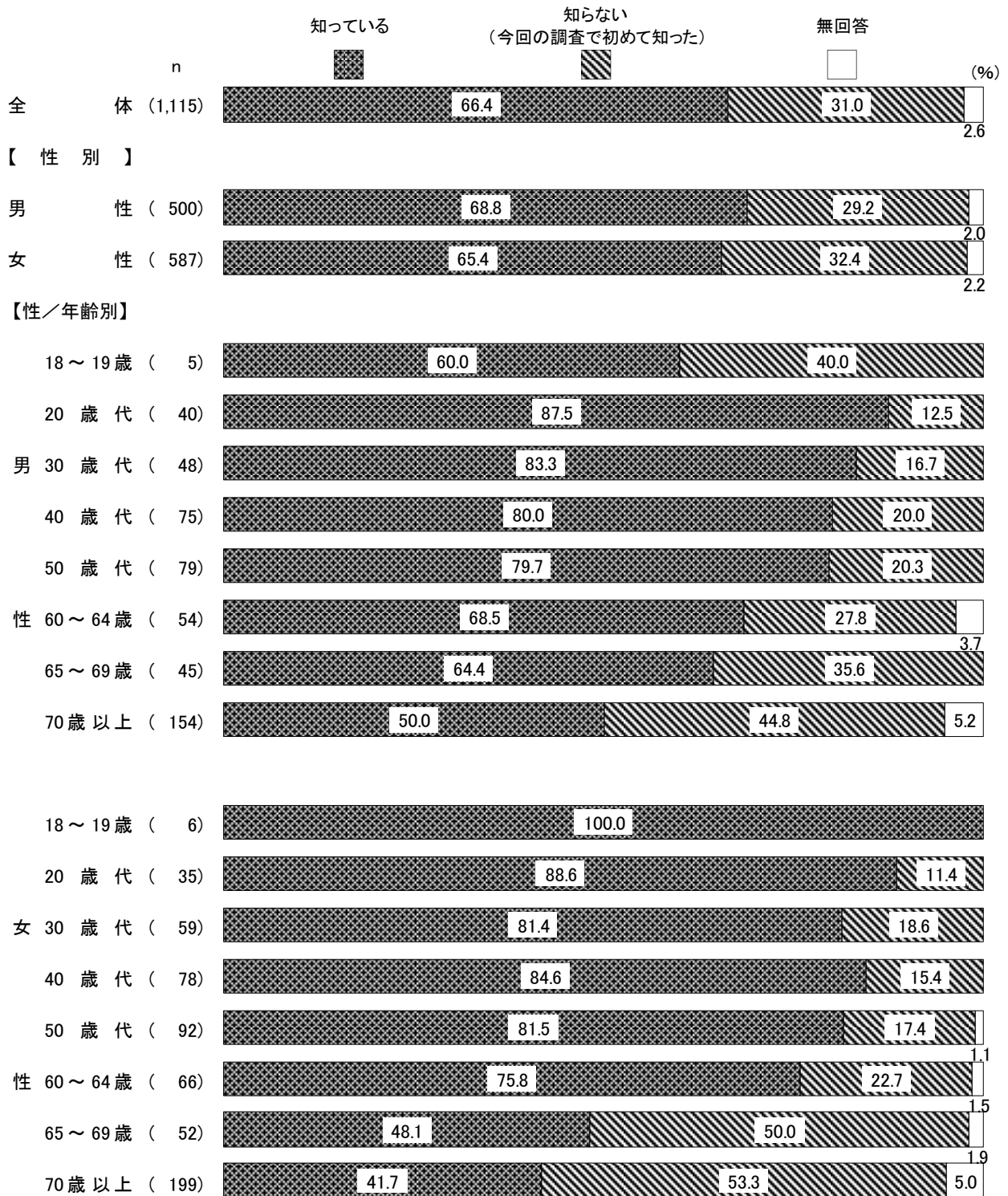
(n=1,115)

全体で見ると、「知っている」(66.4%)が6割台半ばを超え、「知らない(今回の調査で初めて知った)」(31.0%)が3割強となっている。



過去の調査結果と比較すると、「知っている」が令和3(2021)年より増加傾向が続き、令和3(2021)年より23.9ポイント増加している。

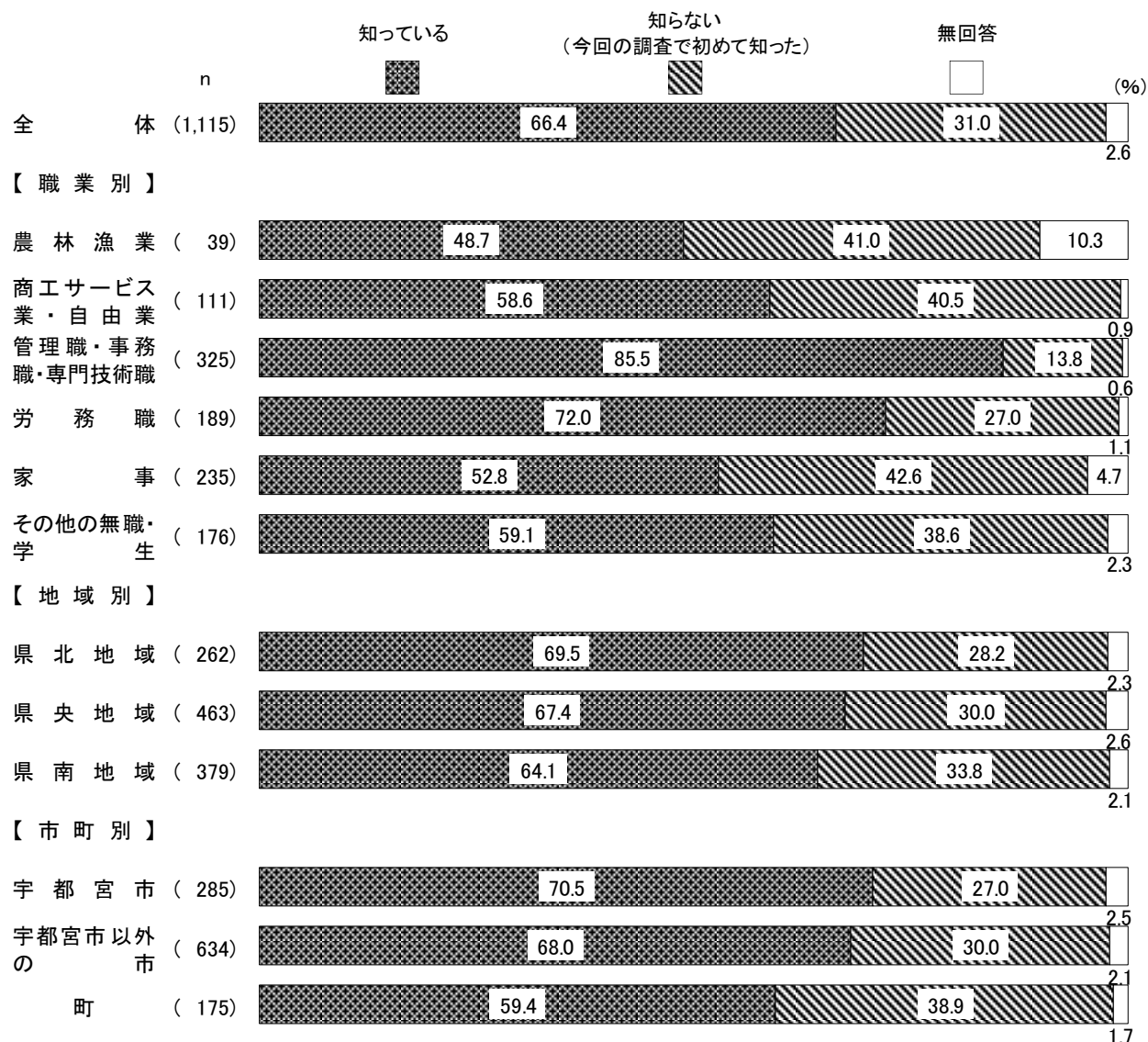
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「知っている」では〈女性20歳代〉が88.6%、〈男性20歳代〉が87.5%、〈女性40歳代〉が84.6%、〈男性30歳代〉が83.3%、〈女性50歳代〉が81.5%、〈女性30歳代〉が81.4%、〈男性40歳代〉が80.0%、〈男性50歳代〉が79.7%と高くなっている。一方、「知らない（今回の調査で初めて知った）」では〈女性70歳以上〉が53.3%、〈女性65～69歳〉が50.0%、〈男性70歳以上〉が44.8%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「知っている」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が85.5%、〈労務職〉が72.0%と高くなっている。一方、「知らない(今回の調査で初めて知った)」では〈家事〉が42.6%、〈農林漁業〉が41.0%、〈商工サービス業・自由業〉が40.5%、〈その他の無職・学生〉が38.6%と高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

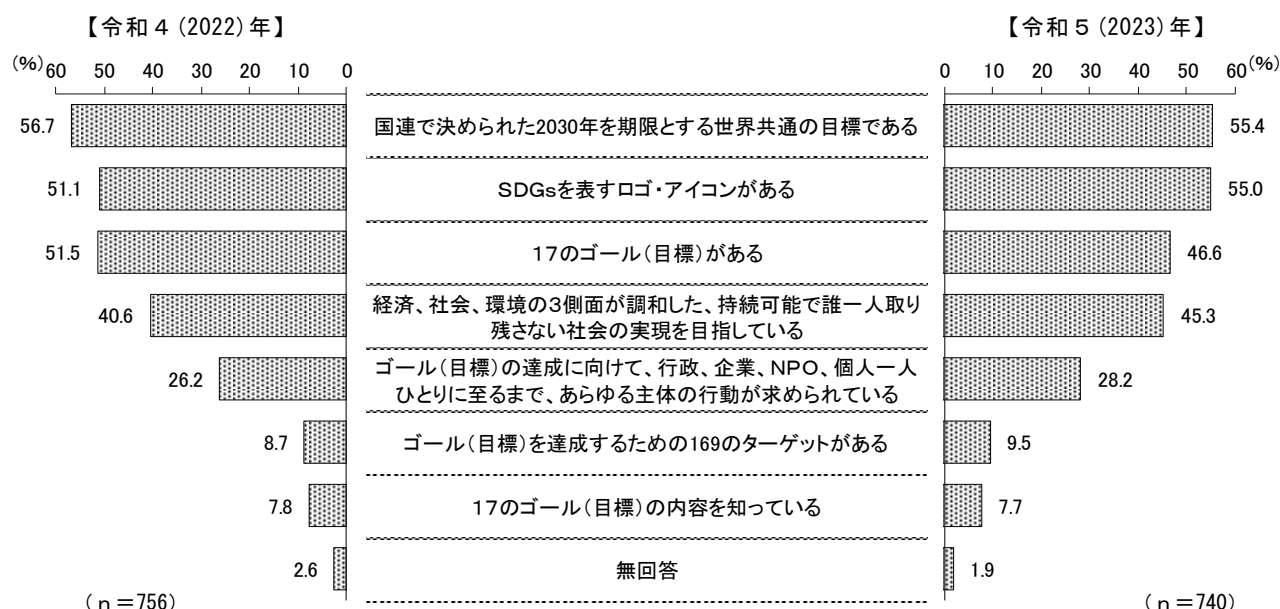
市町別で見ると、「知らない(今回の調査で初めて知った)」では〈町〉が38.9%と高くなっている。

## (2) SDGsのどのようなことを知っているか

(問16で選択肢「知っている」を選んだ方のみお答えください)

問17 SDGs(イステイジーズ)について、どのようなことを知っていますか。次の中からいくつかでも選んでください。 [n=740]

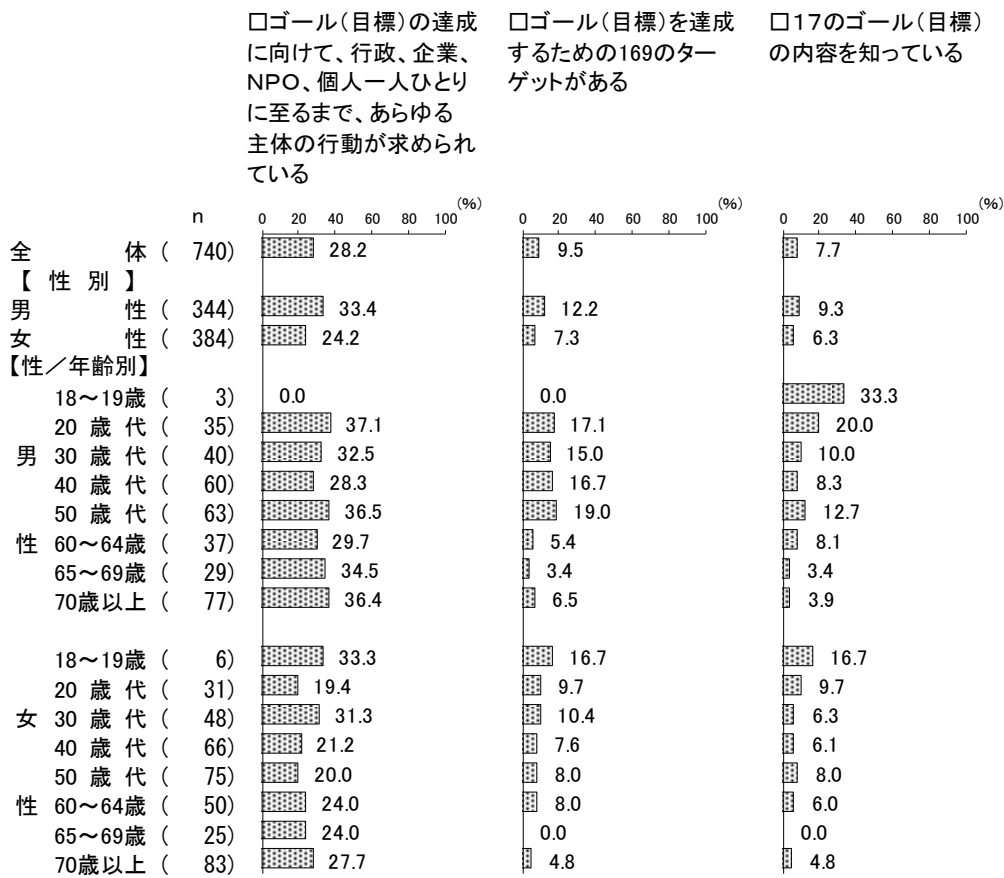
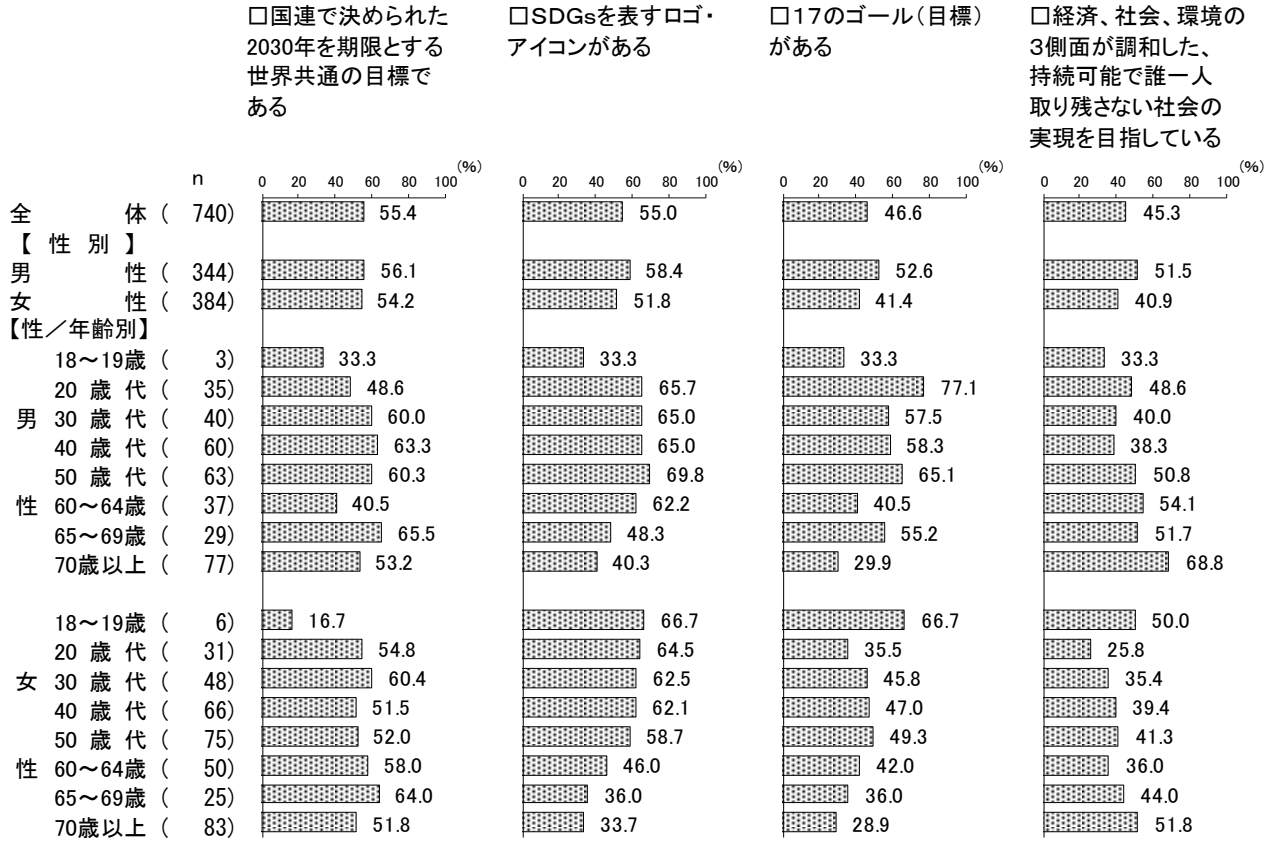
1	国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である	55.4%
2	SDGsを表すロゴ・アイコンがある	55.0
3	17のゴール(目標)がある	46.6
4	ゴール(目標)を達成するための169のターゲットがある	9.5
5	経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している	45.3
6	ゴール(目標)の達成に向けて、行政、企業、NPO、個人一人ひとりに至るまで、あらゆる主体の行動が求められている	28.2
7	17のゴール(目標)の内容を知っている	7.7
	(無回答)	1.9



全体で見ると、「国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である」(55.4%)が5割台半ばで最も高く、次いで「SDGsを表すロゴ・アイコンがある」(55.0%)、「17のゴール(目標)がある」(46.6%)、「経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」(45.3%)の順となっている。

前回(令和4(2022)年)の調査結果と比較すると、「経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」が4.7ポイント増加しており、「17のゴール(目標)がある」が4.9ポイント減少している。

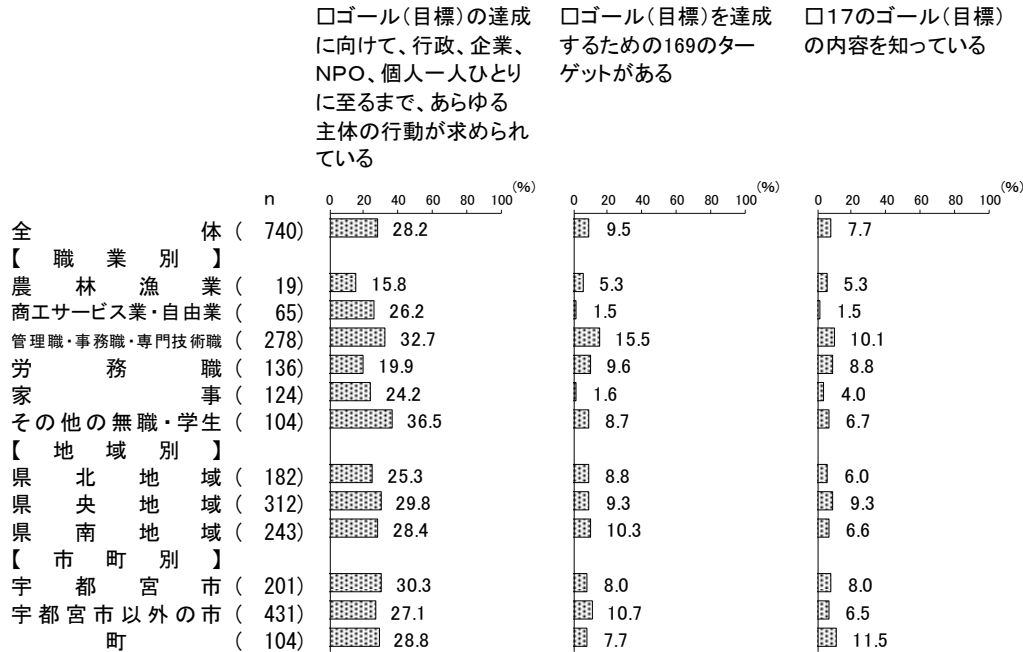
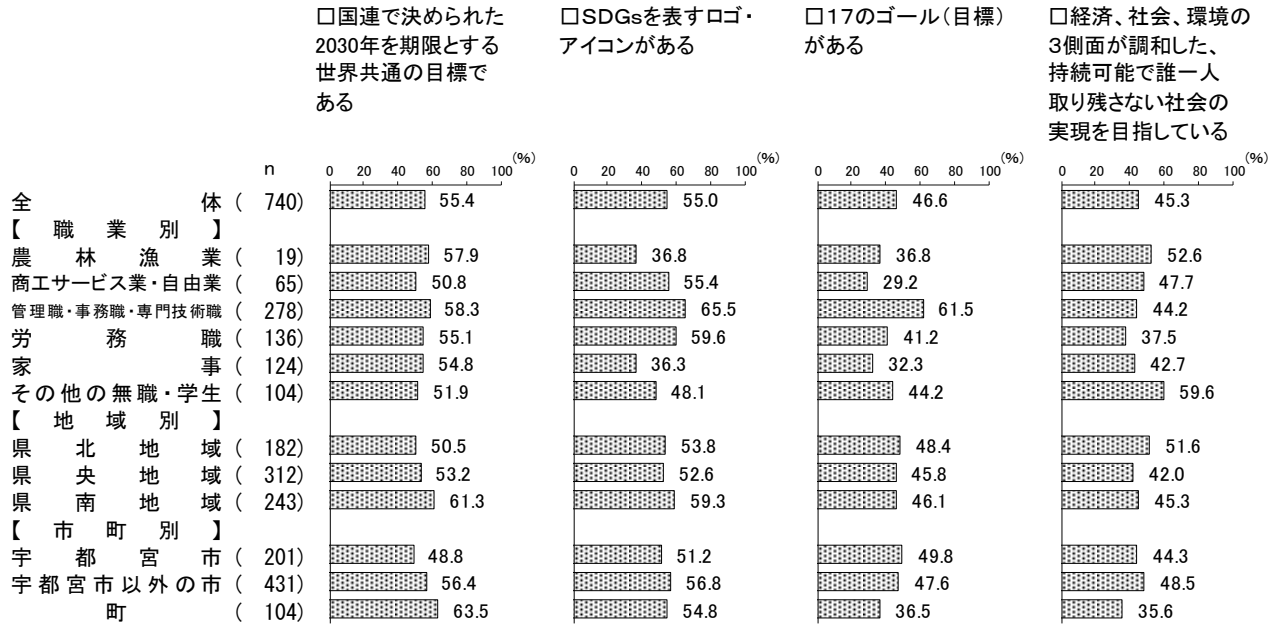
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「17のゴール（目標）がある」では〈男性〉（52.6%）が〈女性〉（41.4%）より11.2ポイント高くなっている。「経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」では〈男性〉（51.5%）が〈女性〉（40.9%）より10.6ポイント高くなっている。「ゴール（目標）の達成に向けて、行政、企業、NPO、個人一人ひとりに至るまで、あらゆる主体の行動が求められている」では〈男性〉（33.4%）が〈女性〉（24.2%）より9.2ポイント高くなっている。「SDGsを表すロゴ・アイコンがある」では〈男性〉（58.4%）が〈女性〉（51.8%）より6.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である」では〈男性65～69歳〉が65.5%と高くなっている。「SDGsを表すロゴ・アイコンがある」では〈男性50歳代〉が69.8%、〈男性20歳代〉が65.7%、〈男性30歳代〉および〈男性40歳代〉がそれぞれ65.0%と高くなっている。「17のゴール（目標）がある」では〈男性20歳代〉が77.1%、〈男性50歳代〉が65.1%、〈男性40歳代〉が58.3%、〈男性30歳代〉が57.5%と高くなっている。「経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」では〈男性70歳以上〉が68.8%と高くなっている。「17のゴール（目標）の内容を知っている」では〈男性20歳代〉が20.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「SDGsを表すロゴ・アイコンがある」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が65.5%と高くなっている。「17のゴール(目標)がある」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が61.5%と高くなっている。「経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」では〈その他の無職・学生〉が59.6%、〈農林漁業〉が52.6%と高くなっている。「ゴール(目標)の達成に向けて、行政、企業、NPO、個人一人ひとりに至るまで、あらゆる主体の行動が求められている」では〈その他の無職・学生〉が36.5%と高くなっている。「ゴール(目標)を達成するための169のターゲットがある」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が15.5%と高くなっている。

地域別で見ると、「国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である」では〈県南地域〉が61.3%と高くなっている。「経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している」では〈県北地域〉が51.6%と高くなっている。

市町別で見ると、「国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である」では〈町〉が63.5%と高くなっている。